

# 神田駿河台地区熱供給センター

## 建物諸元

所在	東京都千代田区神田駿河台 3-11-1
主用途	熱供給施設
敷地面積	
延床面積	約 249,000 m <sup>2</sup> (供給対象延床面積)
階数	
竣工年月	1988 年 4 月
事業者・所有者	東京都市サービス株式会社
設計会社	
施工会社	
管理会社	東京都市サービス株式会社
URL	<a href="https://www.tts-kk.co.jp/">https://www.tts-kk.co.jp/</a>
テナント数	

## 主な評価項目

### I 一般管理事項

定期的に CO<sub>2</sub> 削減推進会議を開催し、CO<sub>2</sub> 削減対策の立案・実施および効果検証を実行

### II 建物、設備性能に関する事項

蓄熱式ヒートポンプシステムの採用

高効率モータの採用やインバータ制御によるポンプの高効率化

### III 運用に関する事項

運転実績データを基に機器の効率分析を行い、適切な保守・運転管理を実施

## 事業所の概要

御茶ノ水駅前南側の約 11ha の地区において、「蓄熱式ヒートポンプシステム」を採用した連携する 2 箇所のプラントより熱供給を行い、文化と伝統のある大学キャンパス街の環境保全に貢献しています。

## 事業所における環境負荷低減の取組

### 1. 蓄熱式ヒートポンプシステムの採用

#### (1) 電力の負荷平準化

夜間電力を利用して製造した熱を蓄熱槽に蓄熱し、昼間に供給することで電力負荷の大きい昼間の熱源機運転を軽減しています。

#### (2) 熱源機の高効率運転

蓄熱槽の活用により熱源機の負荷率 100%前後の安定した高効率運転を行っています。

### 2. プラントの連携運転

第 1 プラントと第 2 プラントを導管で連携し、地域全体の熱需要に合わせて最適な熱源機を運転することで省エネルギーを図っています。



供給区域



熱源機